



ワンコールカット機能の対象になるのは、通知された電話番号がアドレス帳に登録されていない着信の場合です。

ワンコールカット機能、着信拒否の指定番号またはアドレス帳外を同時に設定している場合は、着信拒否機能が優先されます。

指定時間中は着信画面に「ワンコールカット機能 機能中」と表示され、着信音、パイプレータ、着信ランプは動作しません。指定時間が過ぎると通常の着信動作をおこないます。

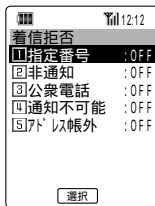
ワンコールカット機能が「OFF」に設定されている場合、約3秒以内で切れた不在着信は、着信履歴に赤色の矢印のアイコンで表示されます。

指定番号や番号非通知の着信を拒否する[M44]

番号拒否リストに登録した電話番号や番号非通知、公衆電話からの電話などを着信拒否することができます。また、アドレス帳に登録されていない電話番号からの電話を着信拒否することもできます。(着信拒否)お買い上げ時の設定は、P265をご参照ください。

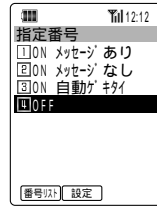
1

2 「ON」を選択 ロックNo.を入力



< 項目選択画面 >

3 拒否する条件を選択



< 指定番号を選択した場合 >

4 拒否の動作を選択

手順3～4を繰り返して各項目を設定してください。



指定番号拒否を「自動ゲキタイ」に設定した場合は、相手の声を送り返します。こちらの声は相手に聞こえません。

着信拒否された着信は、拒否履歴に記憶されます。(P51)

着信転送サービスのフル転送(P288)を設定している場合は、指定番号拒否をしても着信転送サービスが優先されます。

着信拒否設定した電話番号からの着信は、着信音、パイプレータ、着信ランプは作動しません。

着信拒否設定のON/OFFにかかわらず、Cメールは受信できます。

アドレス帳外の「留守メモ録音」を設定した場合は、アドレス帳に登録されていない電話番号からの着信があると、簡易留守メモ(P54)の設定にかかわらず、簡易留守メモが起動します。


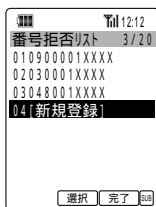


エリア設定(P59)を「日本」以外に設定している場合は設定できません。


P54の表の「メッセージなし」に設定した場合は着信拒否中はメッセージを流さずに、着信中に「拒否」を長押し(約1秒以上)したときと同じ動作になります。(P50)

拒否設定内容一覧


項目	応答メッセージ	メッセージ内容
1 指定番号	メッセージあり	この電話番号からの電話はお受けできません
	メッセージなし	-
	自動ゲキタイ	-
2 非通知	応答メッセージ1	この電話番号からの電話はお受けできません
	応答メッセージ2	発信者番号通知がされておりません。電話番号のあたりに186を付けておかけ直してください
3 公衆電話	応答メッセージ1	この電話番号からの電話はお受けできません
	応答メッセージ2	公衆電話からの電話はお受けできません
4 通知不可能		この電話番号からの電話はお受けできません
5 アドレス帳外	メッセージあり	この電話番号からの電話はお受けできません
	メッセージなし	-
	留守メモ録音	(簡易留守メモで設定されている応答メッセージの内容)

指定番号着信拒否に設定する電話番号を登録する

1 P53手順3の画面で  2  電話番号を入力 

 を押してアドレス帳 (P65) や発信履歴 (P39) 着信履歴 (P51)、メモ帳 (P275) などから電話番号を呼び出すことができます。

3 

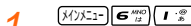

電話番号を消去するには、手順1の画面で消去したい電話番号を選択して  を押します。

簡易留守メモを設定する

簡易留守メモを設定すると、電話に出られないときに応答メッセージを流して、相手からの伝言を録音できます。1件の録音時間は最大約20秒で、通話音声メモ (P42) と合わせて3件まで録音できます。


簡易留守メモを設定する [M61]

お買い上げ時の設定は、P266をご参照ください。


2 「ON」を選択 

3 応答時間を入力

電話がかかってきてから簡易留守メモの自動応答が開始されるまでの応答時間を設定します。01～30秒まで入力できます。

 で時間を入力することもできます。

4 


待受画面に  が表示されます。



録音件数がすでに3件ある場合は、簡易留守メモの設定ができません。また、簡易留守メモを設定後に録音件数が3件になった場合は、簡易留守メモは機能なくなります。

録音した内容は電池パックを交換するときも保持されますが、長時間電池パックを外していると消えてしまう場合があります。



本体を開いた状態でサイドキー () を長押し (約1秒以上) しても簡易留守メモを設定 / 解除できます。

サイレントバイブ、ドライブ、おやすみ、オリジナルマナーのいずれかのマナーモード (P56) を設定中に簡易留守メモの設定 / 解除操作をおこなうと、マナーモードを解除したあとに簡易留守メモの設定 / 解除が実行されます。